

# あなたも「助けられ上手」になろう！

困った時に『助けて』と一言話しかける勇気が、ご近所に「ほっこり」関係を生みます。「困っている人がいたら助けたい」と思っている人は、実はたくさんいるのです。時には助け、時には助けられ、お住まいの地域に「おたがいさま」の文化をひろげていきませんか？

同じマンションの方  
に話を聞いてもら  
えただけで気持ち  
が落ち着いた。

引っ越してきて  
すぐにご近所さん  
が声をかけてくれ  
て嬉しかった。

書いてあるところにあなたも書いてみよう！

みんなの  
ご近“目”で  
ほっこり  
エピソード

「子どもに何かあったら声をかけてね」とご近所さんが言ってくれた。

間違っでごみを出  
してしまった時、  
分別を手伝ってく  
れた。

忙しくて野菜の食  
事を作れないと  
呟いたら、野菜の  
お惣菜をおすそ分  
けしてもらった。

バスから降りる時、  
シルバーカーを降  
ろすのを手伝って  
くれた。

カギが開かなくて  
困っていたら、ご  
近所の方が声をか  
けてくれた。

子どもだけで遊ん  
でいる時、ご近所  
さんが見守ってく  
れている。

転んだ時、お布団屋さんが  
絆創膏をくれた。